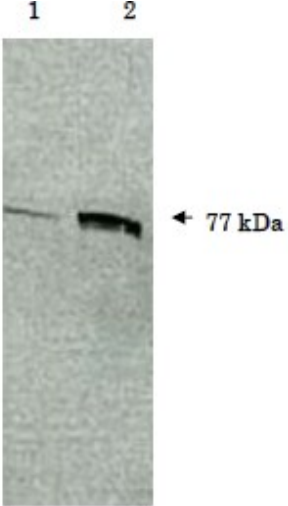


抗 Sup35/PSI+ (*S.cerevisiae*) 抗体、ウサギポリクローナル

商品コード	62-300
容量	100 µl
保存	-20 °C
濃度	4mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol, 0.09% sodium azide
純度	ウサギ抗血清から IgG 画分を精製した
抗原	Sup35 タンパク質のアミノ酸 No. 494-507 に相当する合成ペプチド
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	<i>S. cerevisiae</i> Sup35。他の種についてはテストしていない。
アプリケーション	1) ウェスタンブロッティング (1,000~2,000 倍希釈)。 他の用途については調べられていない。
背景	出芽酵母 <i>S. cerevisiae</i> Sup35 タンパク質 は翻訳終結因子 eRF3 として働いている。このタンパク質は [PSI+] プリオン状態となると不溶性となり、凝集体をつくる(文献 1)。この状態になると Sup35 の本来の働きは不全となり、停止信号を無視するという酵母のプリオン病を発生する(文献 2)。この凝集体の形成と維持には分子シャペロン Hsp104 が必要である(文献 3、4)。
Data Link	SGD SUP35/YDR172W
画像	 <p>図. 抗 Sup35 PSI plus 抗体を用いたウェスタンブロットによる出芽酵母粗抽出液中の Sup35 タンパク質の検出</p> <ol style="list-style-type: none"> 酵母内在性レベルの Sup35 の発現 Sup35 遺伝子をプラズミドからの多量発現酵母の抽出液 <p>一次抗体は 1/2,000 希釈で用いた。 Sup35 タンパク質は分子量 77.6 kDa の位置に同定された。</p>
文献	この抗体は下記文献に用いられた。 Kimura Y <i>et al</i> "The role of pre-existing aggregates in Hsp104-dependent polyglutamine aggregate formation and epigenetic change of yeast prions." <i>Genes to Cells</i> 9 : 685-696 (2004) PMID: 15298677
関連製品	#62-301 抗 Rnq1 (<i>S. cerevisiae</i>)抗体、ウサギポリクローナル #62-302 抗 Cdc37 (<i>S. cerevisiae</i>)抗体、ウサギ抗血清
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	